

セミナー

「クラウドサービス等の利用による弁護士業務の効率化」

若手会員総合支援センター委員 舩田 正 (63 期)

若手会員総合支援センターの主催により、2019年11月6日、弁護士会館にて、「クラウドサービス等の利用による弁護士業務の効率化」と題するセミナーが行われたので、その概要をご報告する。

第1部 クラウドサービスとセキュリティ

講師：舩田正委員

1 当委員会で、Google 日本法人、日本マイクロソフト株式会社、Dropbox Japan株式会社、株式会社Box Japanを訪問し、「弁護士情報セキュリティガイドライン」の「ウェブサービスを用いてデータを取り扱うときは、①その運営者が規約等で利用者に対し第三者への情報提供をしないことを保証していることを確認し、保証していない場合には当該サービスを利用しないこと、②同サービスの利用を停止するときは、当該サービスで保管しているデータを確実に消去することなどが強く推奨される」との規定と各社サービスとの抵触の有無等を調査した結果を報告した。

2 Googleは「無償版はデータをビジネスに活用するのが前提」「ガイドラインの『第三者への情報提供をしないことを保証』する規約はなく、今後もその旨の規約を定めることはない」「商用利用のライセンスは利用停止後も存続するため、利用停止してもデータが確実に消去されるとは言えない」とのことであった。他方、有償版ではデータを第三者へ提供することはなく、データが削除されれば180日以内にシステムからデータを削除する旨保証しているとのことである。

他3社は、無償版・有償版に関わりなく、データを第三者へ提供することはなく、また、サービスの利用終了後は削除するとのことである。

第2部 弁護士業務に役立つ便利ツール

講師：高橋喜一弁護士（第二東京弁護士会）

クラウドサービス等の便利ツールを業務に活用している高橋弁護士から、実践例や下記のような便利ツールをご紹介頂いた。



1 TEPRA PRO SR5900P (キングジム)

PCやスマホからLAN経由でテプラに印字できる。

2 P-Touch QL700 (ブラザー)

単票の宛名ラベルをPC等からLAN経由で印刷できるプリンタ。

3 EP-50CN (マックス)

A4紙に電動で正確に2穴パンチする機械。不揃いでも自動で整理してくれる。

4 PASHABO シリーズ (プラス)

ホワイトボードをスマホで撮影するとトリミングしてカラーJPEG画像化。専用WBが必要なので買換え困難であれば、Adobe Scanでも代用可。

5 ScanSnap SV600 (PFU)

書籍等をスキャンする機材。発送郵便物を並べ、撮影すると自動でPDF化かつOCR処理してクラウドへ保存してくれる。OCR処理済なので、過去の郵便物を検索できる。発売元は東京都弁護士協同組合の特約店なので、組合員特別価格で購入可能。

6 トミカタウン「つながる道路」(タカラトミー)

交通事故相談の際に、事故状況を正確に聴き取るのに便利。

7 防音用イヤーマフ (アマゾンほか)

集中して起案をしたいときに、周囲の音をシャットアウトしてくれる。

8 サイボウズメールワイズ

メールに「処理済」等のフラグやコメント等をつけられるツール。メールの見落とし防止効果が期待できる。

9 チャットワーク

チャットツール。導入企業がどんどん増えている。

10 登記簿図書館

不動産、商業登記情報の「名寄せ」ができ、ブルーマップも無料で使える。

11 ネットプリント

コンビニでワードファイル等を印刷可。弁護人選任届等を留置場所近くのコンビニで印刷して差し入れることも可能。

12 郵便追跡サービス

内容証明等の配達状況をメールでお知らせしてくれる。